

nichicon

屋内用蓄電システム ESS-P1S1

取扱説明書



このたびは、ニチコンのポータブル蓄電システムをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書の巻末には保証書が印刷されています。

添付されている製造番号ラベルを忘れずに貼り付け、

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

なお、この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

目次

はじめに	1.安全のために必ずお守りください.....	3
	2.取り扱い上のお願い.....	6
	3.もしもの「安心」、いつもの「節電」	7
	4.接続できる機器	7
	5.開梱時の確認	8
	6.各部の名称	9
使い方	7.基本的な使い方	10
	8.操作部の名称とはたらき	12
	9.パネル表示内容	13
	10. 設定操作方法	15
	①時刻設定.....	16
	②メンテナンスモード運転の実施.....	17
	③ピークシフト運転について	18
	④充電動作の確認	22
	⑤ピークシフト放電動作（放電停止）	23
	⑥本体情報表示	24
	⑦ ログ表示	25
こんなときは	11. こんなときは	27
	12. 注意ランプ(橙)が点灯/点滅したとき	28
	13. 警告ランプ(赤)が点灯/点滅したとき	29
点検	14. 点検とメンテナンス.....	30
	15. 保証とアフターサービス	31
	16. 仕様	32
その他	17. 外形寸法.....	33
	保証書.....	巻末

1.安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられたあとも、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。
- また、「危ない」と感じたときは「AC出力スイッチ」をOFFにし、入力のACケーブルを抜いてください。
(AC出力スイッチにはカバーがついています)

取扱説明書では危険の程度を表す言葉を次のように3つに区分しています。

 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取り扱いをした場合、重傷を負う可能性は少ないが、軽傷を負う危険が想定される場合、および物的損害が想定される事項。
・重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、ならびに治療のために入院や長期通院を要するものをいいます。 ・軽傷とは、重傷に該当しないけが、やけど、感電などをいいます。 ・物的損害とは、家屋、家財および家畜やペットにかかわる拡大損害をいいます。	

また、危険に対する注意事項や表示を次の三種類の記号を使ってあらわしています。
それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

三角形 	注意マーク (注意の喚起)	この記号は、指示を守らないと「危険が発生するおそれがある」ことを示します。 記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。
白丸に斜め線 	禁止マーク (行為の禁止)	この記号は、行為の禁止を表します。 記号の中や近くの絵表示は「してはならない行為」の内容を図案化したものです。
黒丸 	指示マーク (行為の強制)	この記号は行為の指示を表します。 記号の中の絵表示は、「しなければならぬ行為」の内容を図案化したものです。 危険を避けるためにはこの行為が必要です。

絵表示の例

注意マーク			
	* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告		* 回転物注意 誤った取り扱いによって回転物によるけがを負うおそれがあることを示しています
禁止マーク			
	* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告		* ぬれ手禁止 ぬれた手で触らないでください
	* 火気厳禁 安全のために、火気の使用を禁止することを示しています		* 水ぬれ禁止 結露しやすい環境や水がかかる場所に置かないでください
指示マーク			
	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地するように指示する表示		* プラグを抜け 安全のために、電源コードのプラグを必ず抜くように指示するものです

⚠ 危険

禁止 	■蹴ったりぶつけたりして強い衝撃を与えない ●変形して、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります
	■コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■熱源の近くに設置しない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■もれた液体にふれない ●液体が目に入ったときは、こすらず、きれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となるおそれがあります。
分解禁止 	■分解・修理・改造をしない ●感電や傷を負うおそれがあります。
水ぬれ禁止 	■結露しやすい環境で使用及び保管しない。また、水ぶきはしない ●感電、短絡、発熱、発火、発煙、火災などの原因となります。
ぬれ手禁止 	■ぬれた手で、本装置や接続する電気機器のプラグに触れない ●感電の原因となります。
指示 	■本装置から異臭、発熱、発煙が発生した場合は、AC出力スイッチをオフにし、入力のACケーブルを抜く ●そのまま使用すると、場合によっては発熱、破裂、発火する原因になります。

⚠ 警告

禁止 	■もれた液体が皮膚や衣服に付着したときは、こすらず、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください ●皮膚に障害を起こす原因となります。
	■子供を近づけない ●感電・やけど・火災のおそれがあります。
	■灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない ●災害時に火災の原因になることがあります。
	■上に乗ったり、座ったり、物を置かない ●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。
	■可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm以内） ●電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。
	■吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差しこんだり中に入れてたりしない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない ●機器本体からの電磁波が、ペースメーカおよびICDの作動に一時的な影響を与える場合があります。
	■本製品は横置き禁止です。必ずキャスターを下にして使用する ●液漏れ・発熱・火災・感電・故障の原因となります
	■通電中に装置を移動しない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■傷ついたケーブルを使用しない ●感電や火災の原因となります。
分解禁止 	■ねじを外したり分解をしない ●内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。
感電注意 	■災害などにより蓄電装置が浸水、水没、変形、破損などした場合、本製品に近づかない ●感電・有害ガスの発生・発熱・発煙・発火・蓄電池から電解液が漏れるなどの危険がありますので、本製品を停止させ、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。
	■蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する ●入力のコンセントを抜いても、感電や傷を負うおそれがあります。十分注意してください。
指示 	■煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、「AC出力スイッチ」を押し、出力を停止した後、入力のコンセントを抜く ●そのまま使用すると火災の原因となる場合があります。すみやかに販売店にご連絡ください
	■ケーブルにつまつかないようにする ●転倒しけがをする場合があります。

⚠ 警告(続き)

指示 	■配線に物をのせたり、引っ張ったり、押しつけない ●火災や故障の原因となります。
	■配線をキャスターやストッパーで押しつぶさない ●火災や故障の原因となります。
	■入力 AC ケーブルは添付品以外は使用しないでください ●火災、発煙、故障、動作不良の原因になります。
	■電源プラグは、奥まで完全に差し込んでください ●火災、発熱、感電の恐れがあります。
	■配線は束ねないでください ●火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止 	■起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない ●ポンプやモーターなど負荷によって使用できないものがあります。
	■近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない ●引火し、やけど・火災の原因となることがあります。
	■警告ランプ、注意ランプが連続的に点灯・点滅している状態のまま放置しない ●蓄電池が充電されずに使用できなくなり、電池交換(有償)となる可能性があります。 ●出力が停止する可能性があります。
	■振動する場所に長時間置かない ●故障の原因となります。
指示 	■本装置は重量物(約38kg)なので移動時は注意する ●腰を痛めたり、転倒してけがをする恐れがあります。
	■電氣的雑音の影響を受ける装置は本装置から離す ●蓄電装置から発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線の通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。
	■移動は慎重に行う ●勢いがつきやすいので、ぶつけないようにする。 ●キャスターに体が挟まり、けがをするおそれがあります。
	■ストッパーを使用する ●少しの力で動いてしまうので、設置後は必ずストッパーで固定する。
	■入力 AC ケーブルは添付品を使う ●適切でないケーブルは火災の原因となります。
必ずアース線を接続 	■コンセントのアースを接続する ●アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

この製品の使用目的と制限

一般家庭用の電気製品や事務機器を接続し、入力電圧低下(停電)時に電気を供給することを主目的として開発されたものです。したがって以下のような用途には使用しないでください。

- ・人体／生命に重大な影響を及ぼすような医療機器
- ・きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器など
- ・工作機械の制御
- ・交通機関(電車や自動車など)の制御や管制

入力電圧低下(停電)時に蓄電池出力に切り替わるまでの時間は最大※10msです(UPS機能)。

10msの停電に対応していない機器は正常に動作しない可能性があります。

(※10msは1/100秒です。)

2. 取り扱い上のお願い

禁止 	■ 次のような場所には設置しない □ 屋外 □ 標高 1500 m より高いところ □ 温度変化が激しいところ □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ □ 振動、衝撃の影響が大きいところ □ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ □ 浸水のおそれがあるところ □ 風通しが悪いところ □ 直射日光が当たるところ □ 温度：0℃～+40℃以外のところ □ 湿度：0～90%以外のところ、結露が発生するところ □ 傾いている（水平でない）所 ■ ひずみや変動の大きな電源を入力に接続しない ● 入力に電圧歪の大きい発電機などを使用すると入力異常を感知し、蓄電池運転（停電時運転）になります。 ● 発電機によっては、蓄電池に充電できない場合があります。 ■ 装置の近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない ● テレビの画面が乱れたり、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。 ● 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 ● 出力ケーブルは 10m 以内にしてください。 ■ 出力コンセントには、合計で 10A、800W 以上の機器を接続しない ● 機器の故障の原因となることがあります。 ■ 吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない ● 温度上昇により本製品が自動停止する可能性があります。 ■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない ● 製品の変色やひび割れの原因となります。 ■ 入力の AC ケーブルを接続した状態で、AC 出力を開始させずに放置しない ● 製品の故障の原因となります。AC 入力ランプ点灯時は AC 出力スイッチを ON（点灯）にしてください。
注意 	■ 重塩害地域ではさびに注意する ● 錆が発生する場合があります。
指示 	■ 取扱説明書を熟読する ● ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。 ■ 廃棄処理・リサイクルについて ● 廃棄・リサイクルする場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 リチウムイオン電池を内蔵しており、大きな力が加わると破裂、火災の危険があります。

3.もしもの「安心」、いつもの「節電」

本製品は、家庭用コンセントに接続し充電した電気を、入力電圧低下(停電)時や電源の無い環境でご使用になれます。

設置工事は不要で、家庭の接地付コンセントに接続するだけで、すぐにご使用になれます。

■もしもの停電時も「安心」！

- 災害時、電気が使えるとテレビやスマートフォンから情報を得られます。
- 停電時も冷蔵庫やレジなどに最小限の電力を確保できます。(定格出力範囲内)
- 出力コンセントに接続している家電製品は、切り替えなしで停電中もそのままご使用になれます。
- 切り替え時間が※10ms 以下なので、急な停電時にパソコンのデータが消えずに済みます。

※10ms は 1/100 秒です。

■「いつでも」！

- あらかじめ充電をしておくことで、停電している最中でも電気製品を使用することができます。
- 夜間蓄えておいた電気を昼間に使用することができます。(ピークシフト運転)

4.接続できる機器

出力の 2 つのコンセントから出力可能な電力は、合計 10A 800W です。

接続家電製品例

- ・ 冷蔵庫：120 W
- ・ 液晶テレビ：170 W
- ・ デスクトップパソコン：100 W
- ・ ノートパソコン、ルーター等：30 W
- ・ 携帯電話充電（2 台）：10 W

合計：約 430 W

入力電圧低下(停電)時に使用可能な時間は、おおよその目安として、800W 出力時に約 2 時間、430W 出力時に約 4 時間です。(初期値、満充電状態のとき。諸条件やバッテリーの状態によって異なります)

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、注意アラームが発生したり、内部の安全装置が作動して出力を停止することがあります。

出力コンセントへの接続は下記のとおり注意してください。

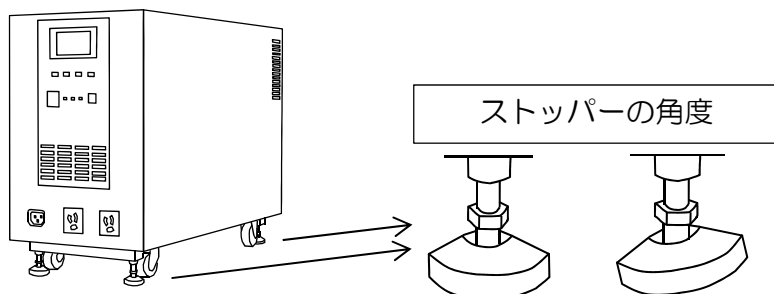
生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	インバータ回路を搭載していない冷蔵庫、掃除機、洗濯機、ヒーター、熱帯魚用ポンプ、トランス等
アンバランス負荷	動作しない場合がある	ドライヤー等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ等

- ・ 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、出力定格を超えないように工夫してください。
- ・ 注意ランプが点灯した場合は、接続している家電製品の数を減らしてください。

5.開梱時の確認

製品を梱包箱から取り出したら、以下のものが入っていることを確認してください。
また、製品本体にへこみ、ゆがみなどが無いことをご確認ください。
なお、本体下部のストッパー4個は可傾式になっています。床面に合わせて角度が調整できます。

- 製品本体



- AC ケーブル (2m 本蓄電システム入力専用)



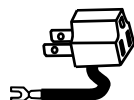
- 取扱説明書(本書 巻末に保証書)



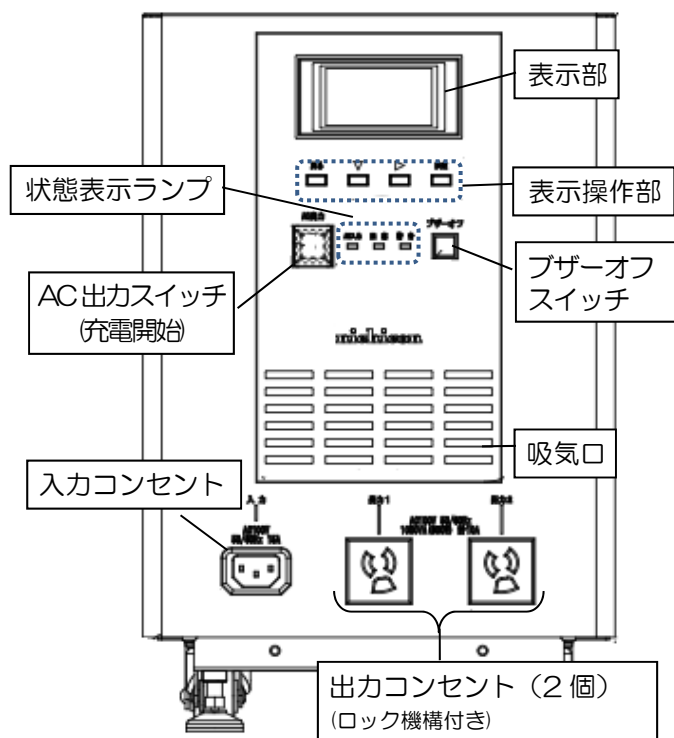
- 製造番号ラベル(1 枚)
本取扱説明書と同じ袋に入っています。巻末の保証書に貼り付けてください。



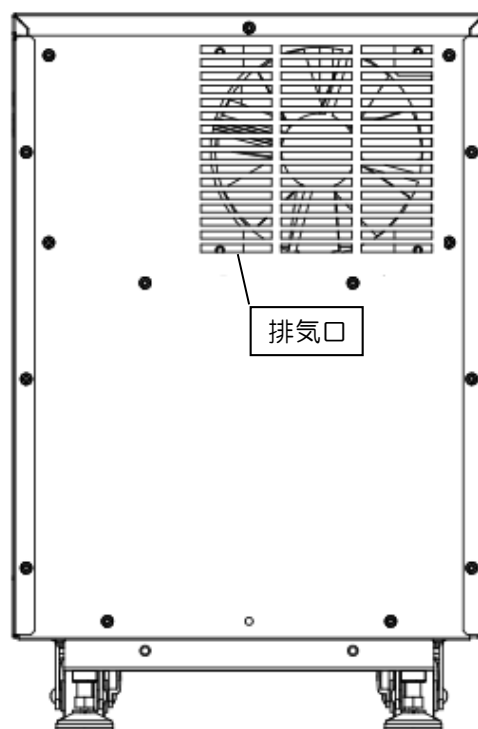
- 2P-3P 変換アダプタ(1 個)
感電の可能性があります。使用する場合は必ず緑/黄色のアース線を接地(アース)してください。
緑/黄色のアース線の接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行い、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから外してください。



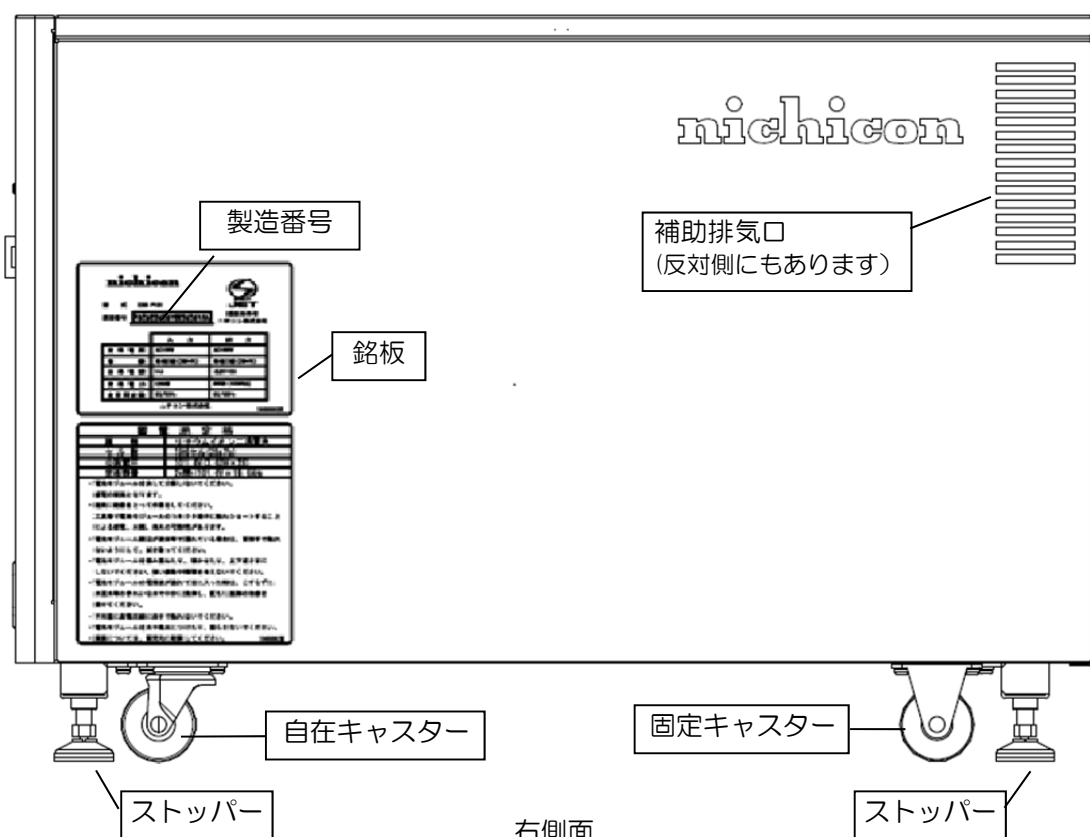
6.各部の名称



前面



背面



右側面

※吸排気口が塞がると温度上昇により本製品が自動停止する可能性があります。吸排気口を塞がないでください。

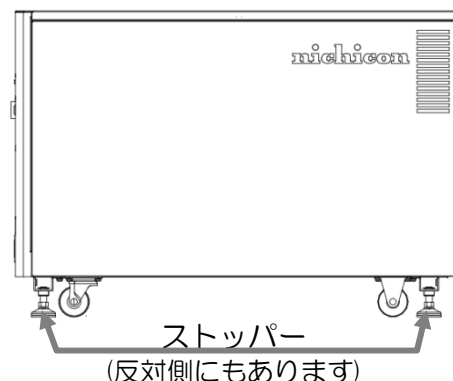
7.基本的な使い方

設置する

★移動するとき

設置場所まで移動したら、必ずストッパーを固定状態にしてください。

- 4 個全てのストッパーを回し、一番上まで上げた状態で移動してください。ストッパーが段差等に引っかかると、転倒したりストッパーが折れる原因になります。
- ストッパーの収納状態の高さは約 7mm です。それ以上の段差の場合は前または後ろを片側ずつ持ち上げて段差を乗り越えてください。
- 約 38 kgあるため、持ち上げる際は一人で行わないでください。また、おろす時は手や足を挟まないように注意してください。
- 後ろ側のキャスターは角度が固定されています。無理に動かそうとするとフローリング等の床を傷つける原因となります。
- ストッパーを使用しても、大きな力が加わると動きます。

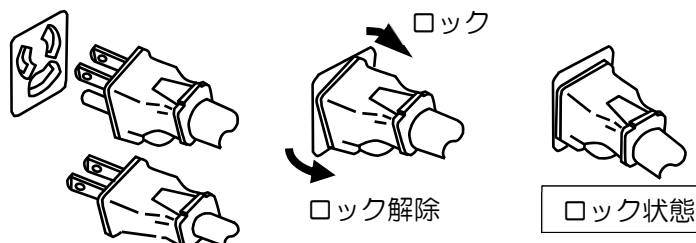
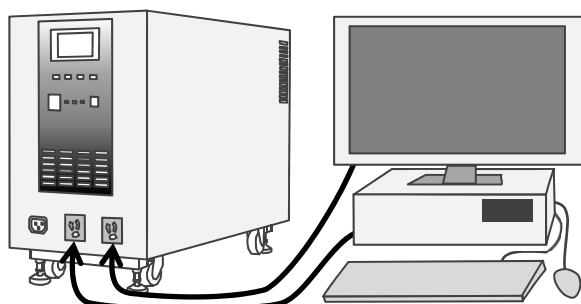


家電製品を接続する

本体の出力コンセントに、使用する電気機器のプラグを差し込み、右にねじるとロックがかかります。ロックを掛けると、ケーブルが抜けてしまう事によるパソコンの電源シャットダウンを防ぐ事ができます。

一般の差し込みプラグ（平行刃）を差し込んで使用する事もできます。

プラグを差し込んで右に回すと、引いても簡単には抜けなくなります。外す場合はプラグを左に回してロックを解除してから引き抜きます。



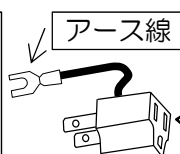
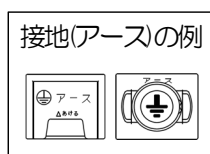
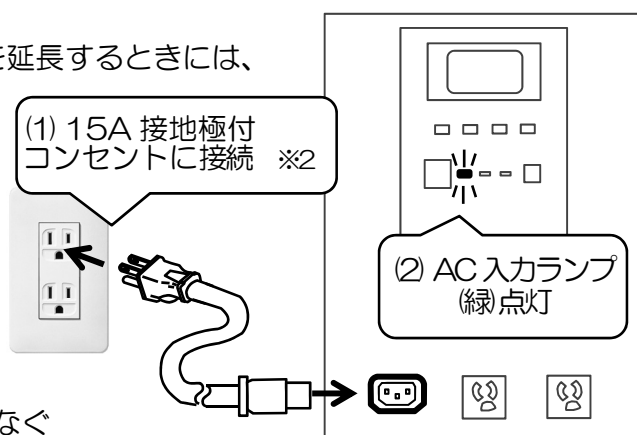
入力の AC ケーブルを接続する

- (1) 付属品の入力用 AC ケーブルを接続します。
延長コードなどを使用して入力の AC ケーブルを延長するときには、15A 以上流せるものをご使用ください。
- (2) 「AC 入力」のランプが点灯します。
- (3) 表示部(液晶)にホーム画面が表示されます。

※1 この状態では充電されません。引き続き次ページの手順に従い、動作(出力と充電)を開始して下さい。

※2 付属の 2P-3P 変換アダプタを使用する場合は必ず緑/黄色のアース線を接地(アース)してください。

アース線の接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行い、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから外してください。



アース線をアースに接続してから抜き差しする

⚠ 注意



アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針のアース線などに接続しないでください。

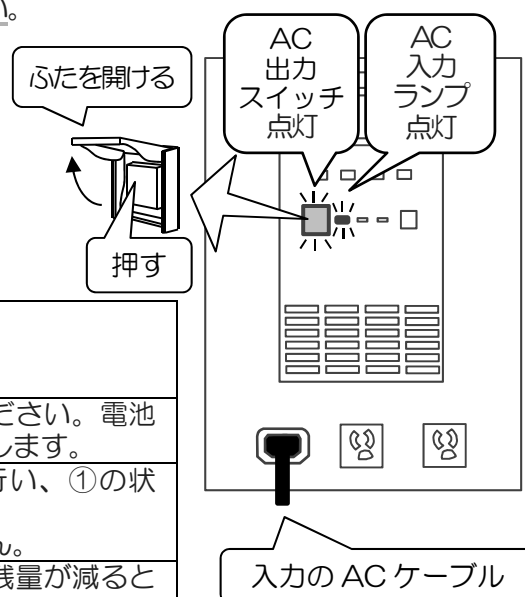
動作(出力と充電)を開始する

入力の AC ケーブルを接続したら、出力に機器を接続する・しないにかかわらず、必ず AC 出力スイッチを ON(点灯)のままご使用いただく設計です。AC 出力スイッチを ON(点灯)しないと充電されません。

AC 出力スイッチを ON(点灯)しないと電池が放電して使えなくなるおそれがあります。

その場合は保証対象外となり、有償修理となりますのでご注意ください。

- (1) AC 出力スイッチのフタを開けます。
- (2) [AC 出力スイッチ]を押します。
 - ・出力準備中はブザーが鳴り、[AC 出力スイッチ] が点滅します。(この時のブザーは止められません)
 - ・出力を開始すると[AC 出力スイッチ]が点灯します。
- (3) AC 出力スイッチのふたを閉めます。
この状態で、使用する電気機器の運転を開始してください。



使い方

	AC 出力 スイッチ	AC 入力 ランプ	状態	対応方法
①	点灯	点灯	通常	このままの状態でお使いください。電池残量が減ると自動的に充電します。
②	消灯	点灯	禁止	ただちに上記(1)(2)(3)を行い、①の状態にしてください。 この状態では充電されません。
③	点灯	消灯	停電	停電時運転をします。電池残量が減ると出力を停止します。
④	消灯	消灯	保管	半年に一度は①の状態にして充電を行ってください。

※ 注意、警告がある場合、注意ランプ(橙)や警告ランプ(赤)が点滅/点灯し、液晶に注意コード、警告コードが表示されます。「注意ランプが点灯した時」(28 ページ)、「警告ランプが点灯した時」(29 ページ)を参照してください。

動作確認

- (1) 停電になっても問題ない家電製品を出力端子に接続します。
- (2) 入力の AC ケーブルを抜き、疑似的に停電状態にして、家電製品が正常に動作していることを確認します。
- (3) 入力の AC ケーブルを接続し、AC 出力スイッチと AC 入力ランプが点灯していることを確認します。

動作(出力と充電)を停止する

- (1) 家電製品の電源を切ります。
- (2) AC 出力スイッチのフタを開けます。
- (3) [AC 出力スイッチ]を押して、AC 出力を OFF(消灯) にします。
- (4) AC 出力スイッチのフタを閉めます。
- (5) 入力の AC ケーブルを抜きます。
※ AC ケーブルを接続したままにすると、電池異常となり有償修理が必要になることがあります。

ブザーの止め方

- 注意ランプ点灯時のブザーはしばらくすると止まります。
- 注意ランプ、警告ランプがついているときのブザーは停止できます。ブザーオフスイッチを 0.2 秒以上長めに押してください。手を離すと停止します。

時計の合わせ方

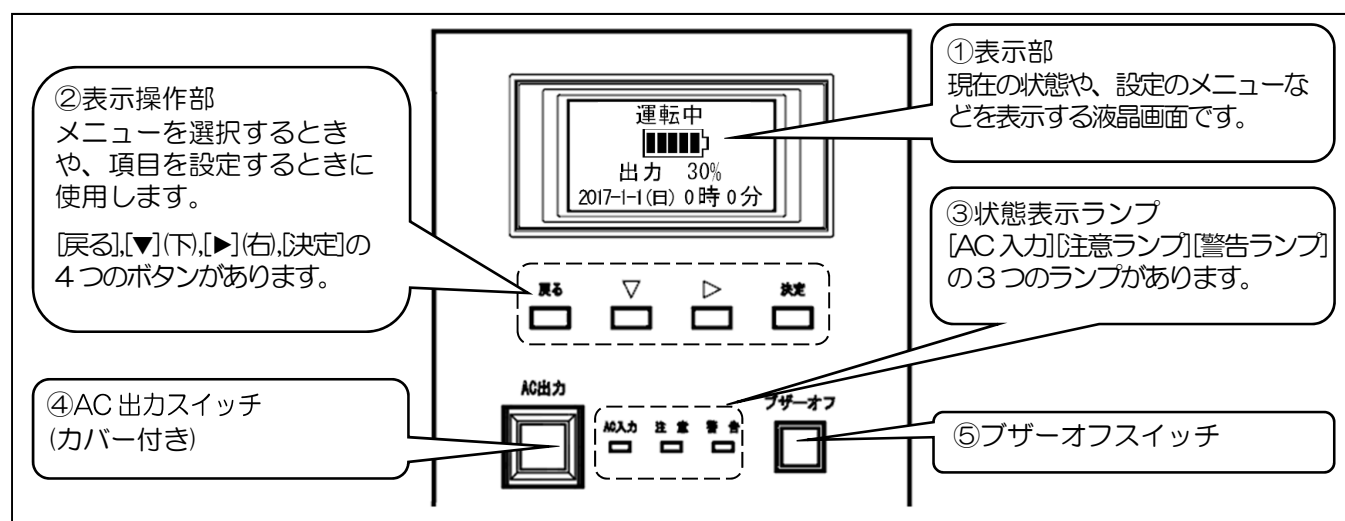
- 操作方法は 16 ページを参照してください。

メンテナンスモード

- メンテナンスモードの実行要求が表示されたときは
バッテリーの状態確認のため、メンテナンスモード要求画面が表示されたら、決定ボタンを押し、メンテナンスモードを実行してください。運転中であれば毎年 6 月にメンテナンスモードの実行要求画面が表示されますが、手動でもメンテナンスモードを実行することができます。操作の詳細は 17 ページを参照してください。

8.操作部の名称とはたらき

操作方法の概要を説明する



②表示操作部
メニューを選択するときや、項目を設定するとき 사용합니다。

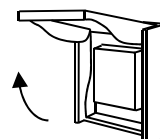
[戻る]	・メニューの選択中は、1つ前のメニューに戻ります。 ・項目を設定中なら処理を中断し、値は変更せず、前のメニューに戻ります。
[▼] (下)	・1つ下の行に移動します。 - 画面一番下で▼ボタンを押すと、一番上の行に戻ります。 ・項目を設定する時に、選択内容や値の変更ができます。
[▶] (右)	・メニュー右端に▶が表示されているとき、▶ボタンを押すとそのメニューに入ります。 ・項目を設定する時に右への移動に使用します。(時刻設定時の桁の移動等) この場合、一番右で▶ボタンを押すと、一番左に戻ります。
[決定]	・メニューの選択中は、そのメニューに入ります。(▶と同じ。) - 項目を設定するときは、ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。

③状態表示ランプ
状態を表示するために以下の3つのランプ があります。

AC入力 (薄緑色)	電圧が入力されているときに点灯します。
注意ランプ (橙色)	正常動作できないときや、正常動作ができなくなりそうな時に点灯/点滅します。
警告ランプ (赤色)	故障が発生した場合に点灯/点滅します。

④AC出力スイッチ
誤って押せないように、このスイッチにはカバーが付いています。
カバーを開けて中のスイッチを操作してください。
スイッチを押すたびに、出力を開始(ON)したり、出力を停止(OFF)することができます。出力停止中にこのスイッチを押すと、スイッチが点滅し出力準備を開始し、出力を開始するとスイッチが点灯します。
入力がないときでも出力できます。

AC出力スイッチカバーは
下側を手前に開ける



⑤ブザーオフスイッチ
ブザーが鳴っているときに0.2秒以上押して離すと、ブザーが停止します。
なお、通常運転中(入力電圧低下(停電)でも放電中でもなく、注意や警告もないとき)に5秒以上長押しすると、ピピッ、ピピッ、とブザーが鳴りはじめ、10秒時点でピーと鳴り、スイッチを離すとバッテリー運転(放電)テストを開始し、5分後に通常運転に戻ります。

9. パネル表示内容

画面は 8 種類あります。

画面 1) 起動画面	入力電源を接続してしばらくすると数十秒間表示されます。
画面 2) ホーム画面(通常画面)	普段表示されている画面です。
画面 3) メッセージ画面	運転モードが切り替わったときなどに表示されます。
画面 4) メンテナンスモード運転要求画面	メンテナンスモード要求発生時に表示されます。
画面 5) メニュー画面	設定を変更したり表示を確認するときの画面です。
画面 6) 注意発生時画面	注意発生時に表示されます。(詳細は 28 ページ)
画面 7) 警告発生時画面	警告発生時に表示されます。(詳細は 29 ページ)
画面 8) 内部通信異常時画面	内部通信異常時に表示されます。

画面 1) 起動画面

AC 入力が入ってしばらくすると、起動画面(トップ画面)を表示します。異常がなければ約 15 秒で起動画面は消えて画面 2) に切り替わります。

蓄電システム

起動中

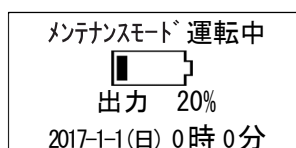
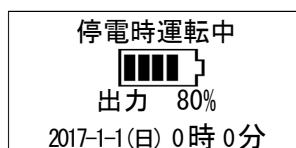
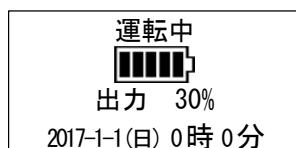
画面 2) ホーム画面(通常画面)

起動画面の後に表示されます。通常時は 4 行表示です。
(メンテナンスモード運転を要求しているとき、注意、警告が出ているとき、設定変更中は別画面を表示します)

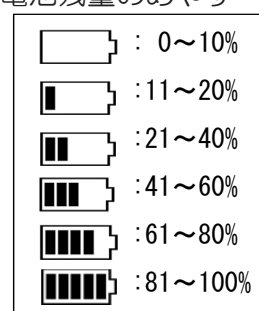
- ① 運転モード
- ② 電池残量
- ③ 出力 x %
- ④ メッセージ

① 1 行目：運転モード 下表の 1)~6) のうち、いずれかを表示します。 表示が更新されるまで、最大 10 秒かかることがあります。	
1) 待機中 AC 入力正常、AC 出力と蓄電池への充電は停止中。	
2) 運転中 AC 入力正常、AC 出力中。 ただし、出力中に充電しているときには、「充電中」表示となります。	
3) 停電時運転中 AC 入力停電、蓄電池で放電中(停電、電圧低下またはコールドスタート)。	
4) 放電中 AC 入力正常、ピークシフト運転中(蓄電池から放電中)	
5) 充電中 蓄電池の充電中。	
6) メンテナンスモード 運転中 メンテナンスモード運転中。AC 入力があり、蓄電池の放電、充電中。	
② 2 行目：電池残量 電池残量のめやすを  の絵で表示します。一目盛り約 20% です。 充電中は、電池の絵が点滅します。(メンテナンスモード運転時は点滅しません)	
③ 3 行目：出力 x % 出力電力の定格 800W1000VA に対する割合を%表示します。 (表示値はある程度の誤差があります。) 運転モードにより、若干のずれが生じます。 特に出力が少ない場合(10%程度以下)では誤差が大きくなります。 また、出力が 30W 以下の場合、0%と表示します。	
④ 4 行目：現在日時 または メッセージ 正常時は現在日時を表示します。 注意、警告があった時は、メッセージを表示します。 複数の注意や警告を検知したときは、より重要度の高いものを表示します。	

ホーム画面例)



電池残量のめやす



画面 3) メッセージ画面

- ・運転モードが切り替わったとき
 - ・運転開始、運転停止、ピークシフト放電開始、ピークシフト充電開始等
 - ・メンテナンスモード運転後の正常終了時
- に表示されます。

約 30 秒経過後または[戻る]ボタンで元の画面に戻ります。

運転を開始しました 戻る	停電時運転を開始しました 戻る
-----------------	--------------------

画面 4) メンテナンスモード運転要求画面

この画面は、運転中であれば 1 年に 1 回、6 月 1 日になると表示されます。1 年に 1 回はメンテナンス運転を行ってください。詳細は「10.設定操作方法 ② メンテナンスモード運転の実施」を参照。

メンテナンスモード 運転要求 メンテナンスモード 運転が 必要です 戻る 決定
--

画面 5) メニュー画面(設定を変更するときの画面です)

画面 2) の時に[▼]を押すと表示されます。詳細は「10.設定操作方法」を参照。

メニュー メンテナンスモード 運転 ▶ 充電動作 ピークシフト放電動作
--

画面 6) 注意発生時 : 注意ランプ(橙)が点灯/点滅したときに表示されます。

1 行目に、注意コードを表示します。

注意状態がなくなるか、[戻る]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

「12. 注意ランプが点灯/点滅したとき」をご参照ください。

BE110 過負荷 が発生しました 戻る

画面 7) 警告発生時 : 警告ランプ(赤)が点灯/点滅したときに表示されます。

1 行目に、警告コードを表示します。

警告表示中は、状態の記録を行い、バックライトの点灯以外の操作はできなくなります。

警告コード表示時は、サービスセンター(31 ページ)にご連絡したのち、AC 出力スイッチを OFF し、入力の AC ケーブルを抜いてください。

エラー BE509 が発生しました 電源を切りサービスセンタ にご連絡ください
--

画面 8) 内部通信異常時

「通信エラーが発生しました」と表示します。

通信エラー状態が解除されれば、元の表示に戻ります。

ただし、内部通信異常と同時に警告ランプが点灯しているときには警告画面のままとなります。

この画面が継続する場合、サービスセンター(31 ページ)にご連絡ください。

通信エラー が発生しました 電源を切りサービスセンタ にご連絡ください
--

10. 設定操作方法

ホーム画面のときに[▼]を押し、メニューを表示させて設定を変更することができます。メニューを表示させますと、バックライトが点灯します。いずれのメニューでも1分間操作しないとバックライトは消灯し、ホーム画面に戻ります。但し、それまでに設定した項目は記憶されます。

なお、動作の変更(⑤ピークシフト放電の停止等)を行いましても、実際にその動作に移るまでに10～15秒ほどかかります。

	説明
①時刻設定	入力電圧低下(停電)時に電気製品を連続して使用することを目的とされる場合は、①②のみの設定/操作でご使用になれます。
②メンテナンスモード運転の実施	
③ピークシフト設定 ③-2 開始設定(放電開始時刻) 終了時刻(放電終了時刻) ③-3 非常時安心設定 ③-4 充電開始時刻 充電終了時刻	応用操作として、放電の開始時刻と終了時刻、充電の開始時刻と終了時刻を設定できます。 この設定をすると、夜間に充電し、昼間の電力使用量のピークにあわせて放電することができます。 ただし、太陽光発電をご利用の場合には利用制限がありますので、この取扱説明書をよくお読みになり設定を行ってください。
④充電動作の確認	充電器の動作状況を確認できます。
⑤ピークシフト放電の停止	ピークシフト運転で放電中に放電を中断することができます。
⑥本体情報表示	機種名、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。
⑦ログ表示	過去に発生した警告などを見ることができます。

操作の概略

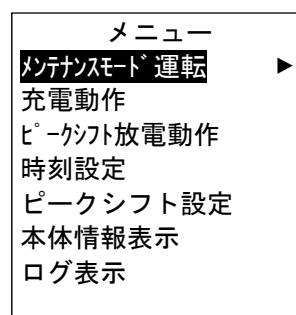
手順 1) 電池のマークが出るまで[戻る]ボタンを押し、ホーム画面を表示させてください。

ホーム画面例



← 運転モード
← 電池残量
← 出力 × %
← メッセージ

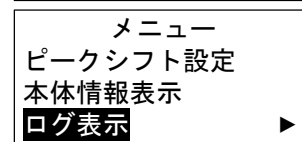
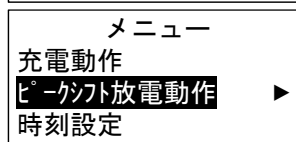
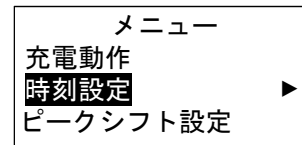
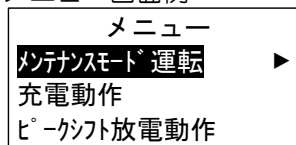
手順 2) [▼]を押し、メニューを表示させます。
※メニューには7項目ありますが、3行(3項目)ずつの表示となります。



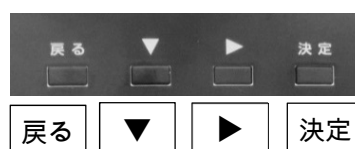
メニュー画面は一番上の行に[メニュー]と表示しています。

手順 3) 選択したい項目が出てくるまで、[▼]を押し画面をずらしします。
一番下のログ表示までいくと、ホーム画面に戻ります。
選択されている項目は白黒反転表示になります。

メニュー画面例



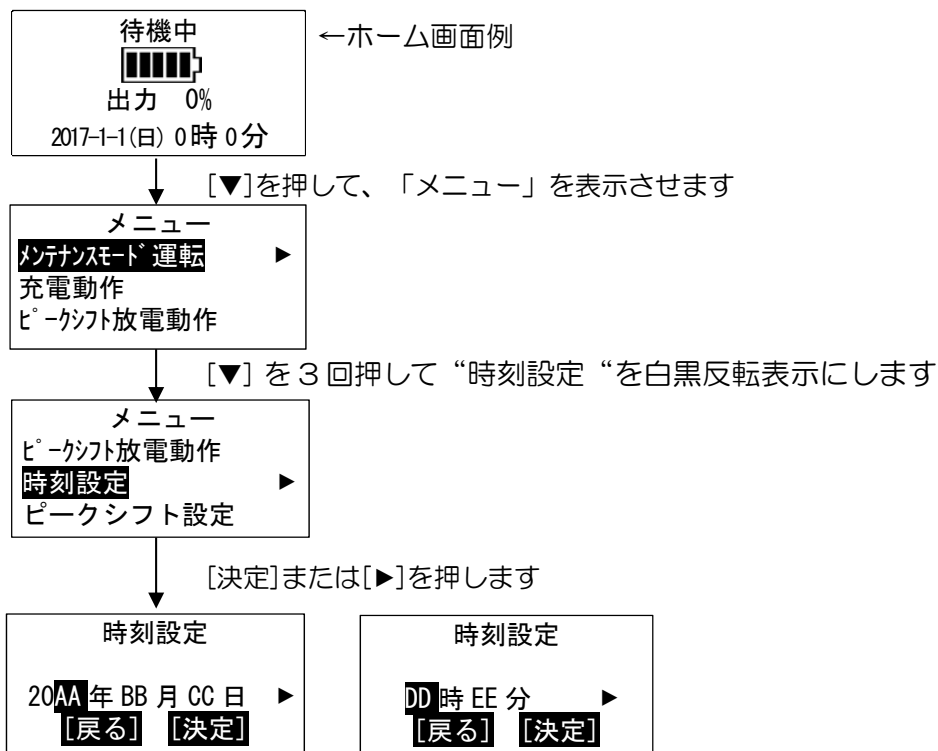
手順 4) [決定]または[▶]ボタンを押すと次に進みます。
[戻る]ボタンを押すと1個前の画面に戻ります。



①時刻設定

画面に表示される時刻を設定できます。時刻は半年で 5 分ほどずれることがあります。半年に 1 度程度、時刻を設定することをお勧めします。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



- [▶]ボタンを押すと年→月→日→時→分→年→月…と順番に設定内容を選択できます。
- [▼]ボタンを押すと値が変わります
- [決定]ボタンを押すと時間を確定し、「メニュー」画面に戻ります。

②メンテナンスモード運転の実施

メンテナンスモード運転とは、蓄電池の放電と充電を行うことで、蓄電池の状態確認を行います。

出力電力が少ないと、終了まで 30 時間以上かかることがありますので、10%以上の負荷を接続することをお勧めします。

(1) 6 月の運転中に自動で
「メンテナンスモード 運転要求」
が表示されたとき

メンテナンスモード 運転要求
メンテナンスモード 運転が
必要です
[戻る] [決定]

※戻るを押すと
今年のメンテナンス
モード運転要求がキャン
セルされます

[決定]

メンテナンスモード 運転
現在：運転中
メンテナンスモード 運転開始
[戻る] [決定]

[決定]

メンテナンスモード 運転を
実行します。
[戻る] [決定]

[決定]

メンテナンスモード 運転中
出力 xx%
操作はできません

メンテナンスモード 運転が
終了しました

[戻る]

(2) 手動にてメンテナンスモードを実施するとき

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、
ホーム画面を表示させます

運転中
出力 30%
2017-1-1(日) 0時 0分

←ホーム画面例

[▼]を押して、「メニュー」を表示させます

メニュー
メンテナンスモード 運転
充電動作
ピークシフト放電動作

[決定]または[▶]

メンテナンスモード 運転
メンテナンスモード 運転は
できません。
[戻る]

メンテナンスモードが実施できなかったときは、[戻る]を押してください。

- ・「待機中」なら AC 出力スイッチを ON し「運転中」にしてから実行してください。
- ・「放電中(ピークシフト運転中)」はピークシフト運転が終了してから実行してください。
- ・「停電時運転中」は停電が回復してから実行してください。
- ・その他のエラーが発生している場合、エラー要因を取り除いてから実行してください。

←出力が少ない場合に表示されます。
出力に接続する電気製品を追加することをお勧めしますが、時間がかかってもこのまま実行する場合には[決定]を押してください。

運転中の場合、毎年 6 月になると「メンテナンスモード 運転要求」画面を表示します。

「メンテナンスモード 運転要求」表示中に[戻る]でメンテナンスモード 運転要求をキャンセルするか、メンテナンスモード 運転を実行しなければ、6 月中は「メンテナンスモード 運転要求」画面が表示され液晶が点灯し続けます。

なお、メンテナンスモード運転中は

- ・出力スイッチの OFF や入力電圧低下(停電)発生時には途中終了となります。
- ・注意が発生した場合、内容によっては途中終了になります。
- ・過負荷などでは一時的にメンテナンスモード 運転を中断し、注意が回復するとメンテナンスモード 運転を再開します。

正常終了でない場合は、性能維持のため、上記②(2)の手動メンテナンスモード 運転を実施してください。

また、前回の実行日は 26 ページ ⑦の 4) メンテナンスモードログ を見ることで確認できます。

停電時に電気製品を連続使用したい目的のときは、設定/操作は以上です。

応用設定 1（ピークシフト）

③ピークシフト運転について

停電時に電気製品を連続使用したい目的のときは設定する必要はありません。

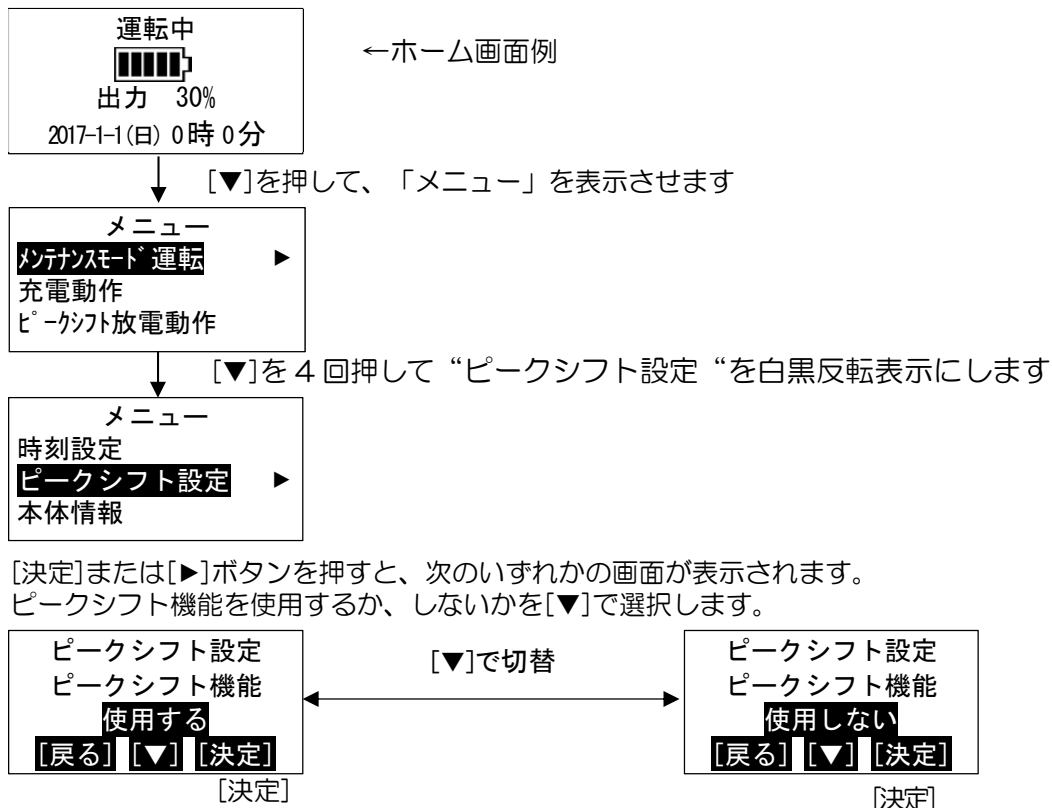
通常の設定では蓄電池に貯めた電気は停電時にしか利用できませんが、ピークシフトを設定すると、停電していない時間に蓄電池からの電気を出力し、蓄電池残量の減少分は指定時間から充電を開始します。電力料金が安い夜間（電力会社とご契約した場合）に充電、電気をよく使う時間帯の午後から夕方に放電、などご利用の時間指定ができます。



- ・ピークシフト運転では、指定した時間になると充電を開始し、満充電になるか、充電終了時間になれば充電を停止します。
- ・充電中にピークシフト放電の時間になると充電を優先し、その日のピークシフト放電はキャンセルされます。
- ・ピークシフト放電では終了時間になるか、非常時安心設定まで放電するとピークシフト運転を終了します。
- ・ピークシフト運転機能を「使用する」から「使用しない」にした際には、自動的に充電開始状態になります。
- ・ピークシフト運転中に出力スイッチを OFF にすると、ピークシフト運転は中断となり、その後、出力スイッチを ON にすると、通常運転に戻ります。このとき、満充電状態で無い場合は充電が始まります。
- ・ピークシフト中に入力電圧低下(停電)が発生するとピークシフト運転は中断となり、停電運転を行い、入力電圧低下(停電)が回復するとピークシフトの設定にかかわらず充電を開始します。

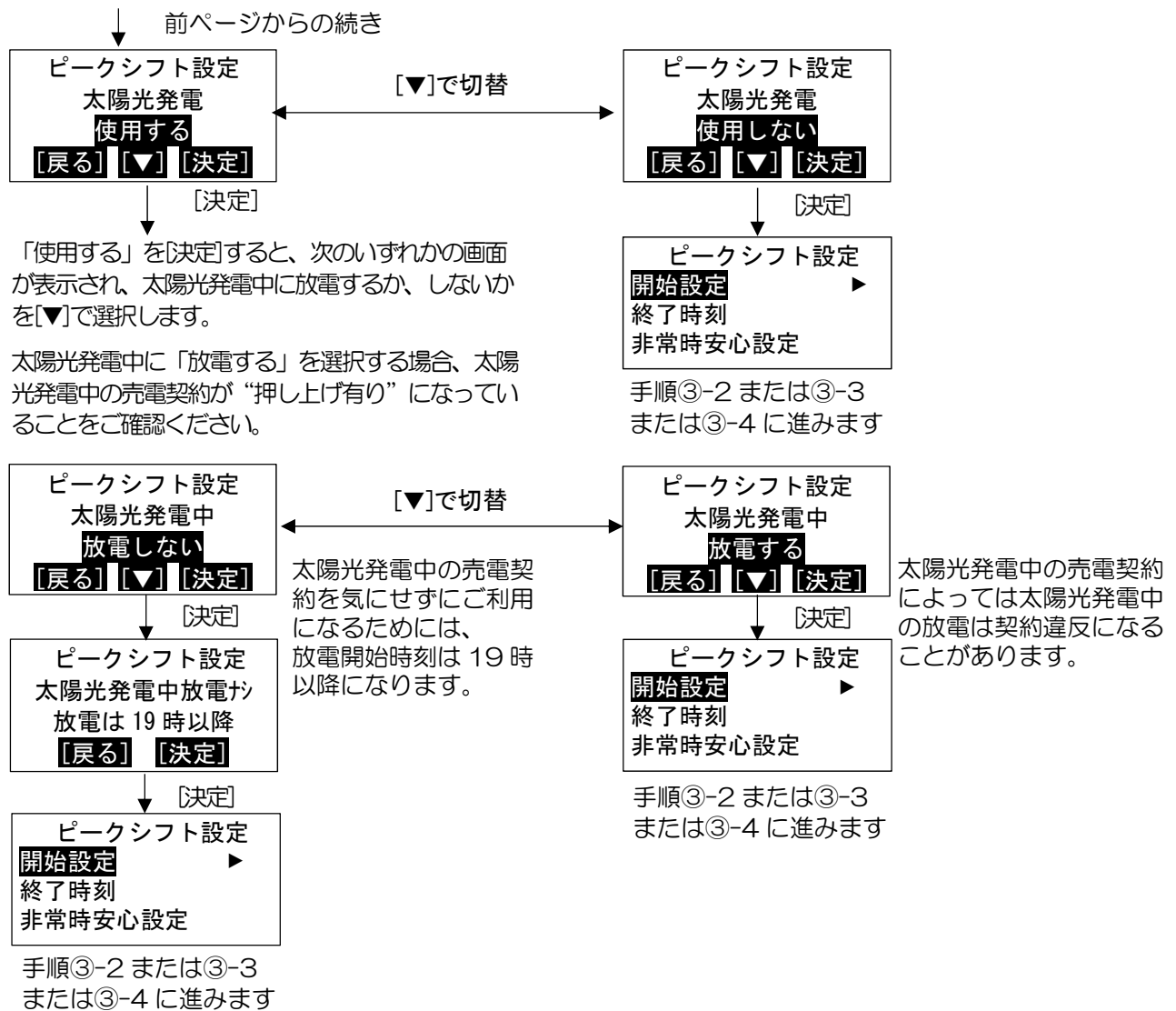
③-1 ピークシフト機能を使用する

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



ピークシフト機能を「使用する」を[決定]すると、次のいずれかの画面が表示されます。太陽光発電を使用しているか、いないかを[▼]で選択します。

↓ 次ページに続く



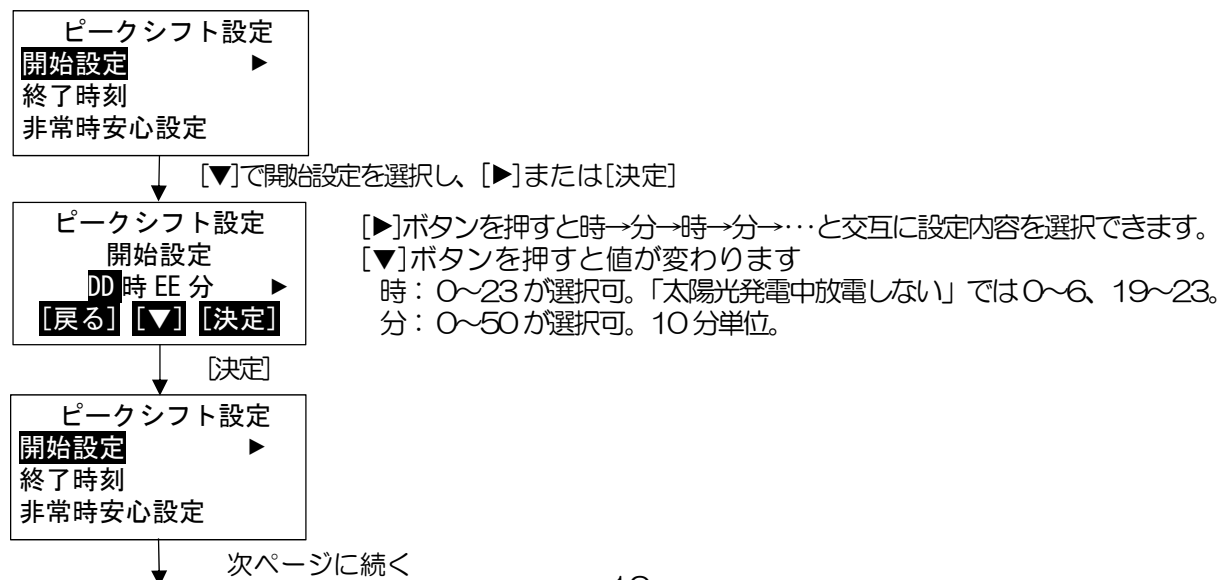
③-2 ピークシフト開始時刻、終了時刻

「太陽光発電中は放電しない」の場合。

- ・7 時 00 分-18 時 50 分は設定禁止です。
- ・ピークシフト開始時間とピークシフト終了時間が同一時刻の場合、ピークシフト運転は実行されません。
- ・ピークシフト開始時刻 6 時 50 分と設定した場合、放電は 6 時 50 分-7 時 00 分となります。
- ・過去に 7 時 00 分から 19 時 00 分の間に設定されていても、19 時 00 分に自動設定されます。

「太陽光発電中に放電する」の場合、7 時から 19 時の間も設定可能です。

手順③-1 または③-3 または③-4 の続き



ピークシフト設定
開始設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶

【▼】で終了時刻を選択し、【▶】または【決定】

ピークシフト設定
終了時刻
DD 時 EE 分 ▶
【戻る】 【▼】 【決定】

【▶】ボタンを押すと時→分→時→分→…と交互に設定内容を選択できます。
【▼】ボタンを押すと値が変わります
時：0～23 が選択可。「太陽光発電中放電しない」では0～6、19～23。
分：0～50 が選択可。10分単位。

【決定】

ピークシフト設定
開始設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶

③-3 ピークシフト非常時安心設定

ピークシフト運転後に入力電圧低下(停電)になった場合にもバックアップ運転が行えるようにピークシフト運転での放電量を抑えるために設定します。

災害等で入力電圧低下(停電)に備える場合はピークシフト運転での放電量を抑えるため、非常時安心設定を多めに設定します。積極的にピークシフト運転をご利用になる場合は非常時安心設定を少なめに設定します。

手順③-1 または③-2 または③-4 の続き

ピークシフト設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶
充電開始時刻

【▼】で非常時安心設定を選択し、【▶】または【決定】

ピークシフト設定
非常時安心設定
50% ▶
【戻る】 【▼】 【決定】

【戻る】ボタンで設定値を変更せずに「ピークシフトメニュー」の「非常時安心設定」に戻ります。
【▼】ボタンを押すと 50%→30%→0%→70%→50%→30%→…と値を選択できます。

【決定】

ピークシフト設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶
充電開始時刻

非常時安心設定を増やす方向に変更し(例えば 50%を 70%へ変更)、現在の蓄電池量が非常時安心設定を下回った場合、非常時安心設定に達するまで充電を開始します。

充電中に「③-4 ピークシフト充電開始時刻」になった場合は充電を継続します。

ピークシフト運転で放電している時に、ピークシフト終了時刻になるか、ここで設定したピークシフト非常時安心設定まで蓄電池容量が低下すると、ピークシフト運転を終了します。

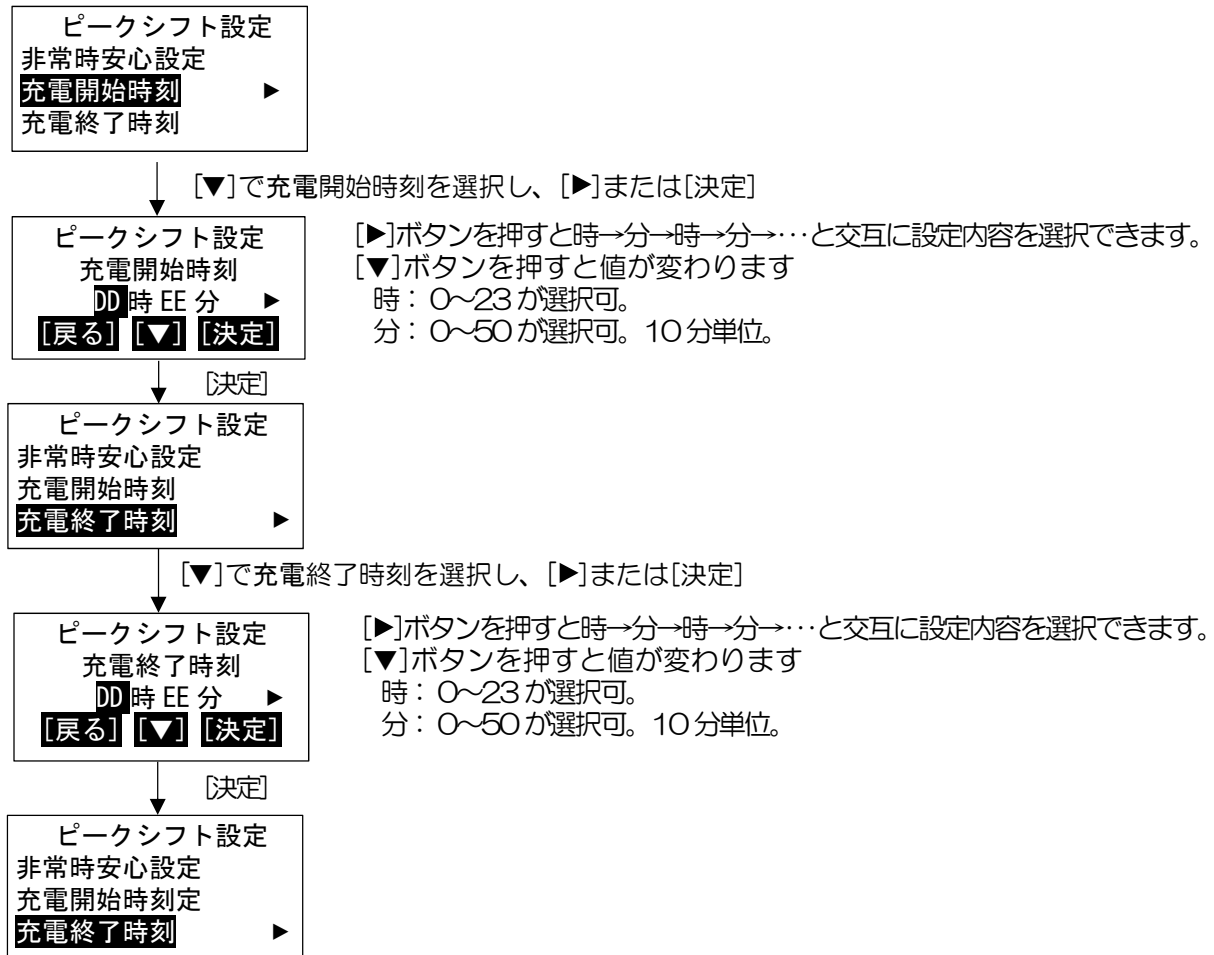
③-4 ピークシフト充電開始時刻、充電終了時刻

ピークシフト充電の時間が短いと、十分に充電されないことがあります。ピークシフト充電開始時刻とピークシフト充電終了時刻は6時間以上になるように設定してください。ピークシフト充電開始時刻とピークシフト充電終了時刻が同一時刻の場合、ピークシフト充電は実行されません。

設定した充電終了時刻になると充電を終了します。

ただし、③-3 で設定した非常時安心設定に達していない場合は充電を継続します

手順③-1 または③-2 または③-3 の続き



応用設定 2（その他）

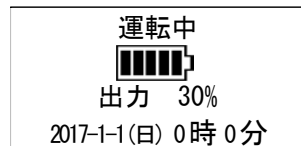
④充電動作の確認

充電器が動作していることを確認できます。

「運転中」「充電中」の表示であれば充電器が正常に動作しています。

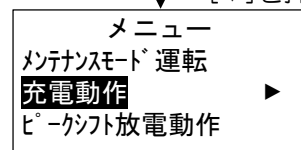
「待機中で充電できません」の表示が出たら、AC 出力スイッチを ON(点灯)させ、出力と充電を開始してください。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



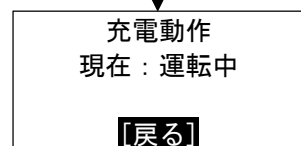
←ホーム画面例

[▼]を押して、「メニュー」を表示させます



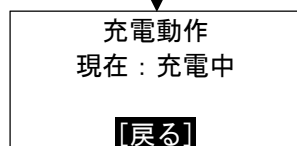
[▼]を押し、“充電動作”を白黒反転表示にします。

[決定]または[▶]ボタンを押すと、次のいずれかの画面が表示されます。



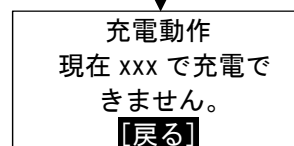
電池残量が減れば自動的に充電動作します。

[戻る]ボタンで、一つ手前の画面に戻ります。



充電中(充電動作中)です。

[戻る]ボタンで、一つ手前の画面に戻ります。



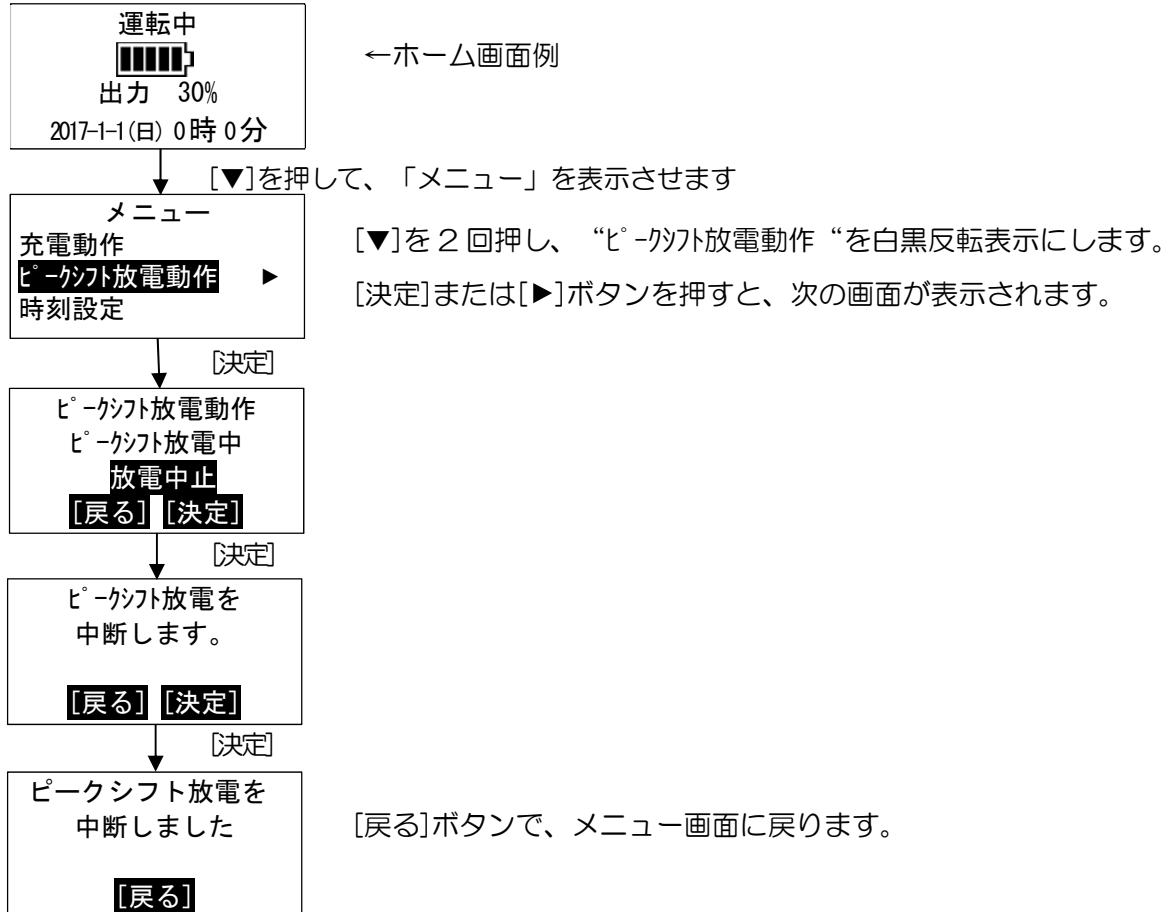
充電器が停止しているときに表示されます。
(xxx には充電できない理由が表示されます)

[戻る]ボタンで、1 つ手前の画面に戻ります。

⑤ピークシフト放電動作（放電停止）

ピークシフト運転で放電中に放電を中断したい場合に使用します。
但し、翌日の③-2 で設定した放電開始時刻になると放電を開始します。
放電を停止すると、通常の運転中に戻ります。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。

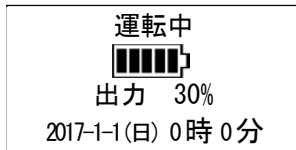


なお、
ピークシフト運転を実施していないときは、画面 3)に「ピークシフト放電を行っていません」と表示されます。

操作を[決定]しても、放電を停止するまでに10～15秒ほどかかります。
また、入力電圧低下(停電)による放電は停止できません。

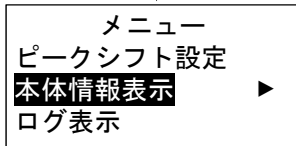
⑥本体情報表示

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



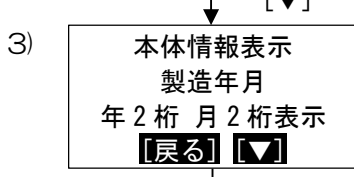
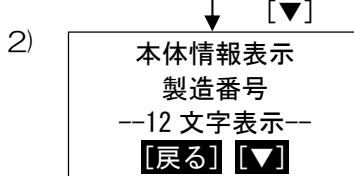
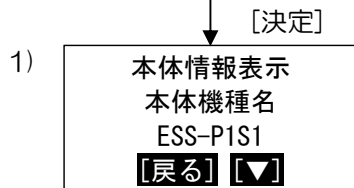
←ホーム画面例

[▼]を押して、「メニュー」を表示させます



[▼]を5回押し、「本体情報表示」を白黒反転表示にします。

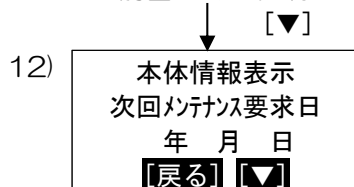
[決定]または[▶]ボタンを押すと、本体情報が表示されます。



表示項目	表示内容
1) 本体機種名	“ESS-P1S1”
2) 製造番号	12 文字
3) 製造年月	年 2 桁、月 2 桁を表示
4) バージョン番号 1	バージョン番号 1 例“0001”
5) バージョン番号 2	バージョン番号 2 例“P001”
6) 充電可能容量	0~100%
7) 積算消費電力量 (積算入力電力量)	AC 入力されてからの積算値です。待機中に 入力 AC ケーブルを抜くとリセットされます。
8) 積算運転時間	今までに運転した時間です。
9) 積算放電電力量	今までにバッテリーが放電した電力です。
10) 積算充電電力量	今までにバッテリーに充電した電力です。
11) 前回メンテナンス実行日	前回のメンテナンス実行日
12) 次回メンテナンス要求日	次回メンテナンス要求日

[▼]を押すたびに、次の順番に表示します。

- 4) バージョン番号 1
- 5) バージョン番号 2
- 6) 充電可能容量
- 7) 積算消費電力量
- 8) 積算運転時間
- 9) 積算放電電力量
- 10) 積算充電電力量
- 11) 前回メンテナンス実行日

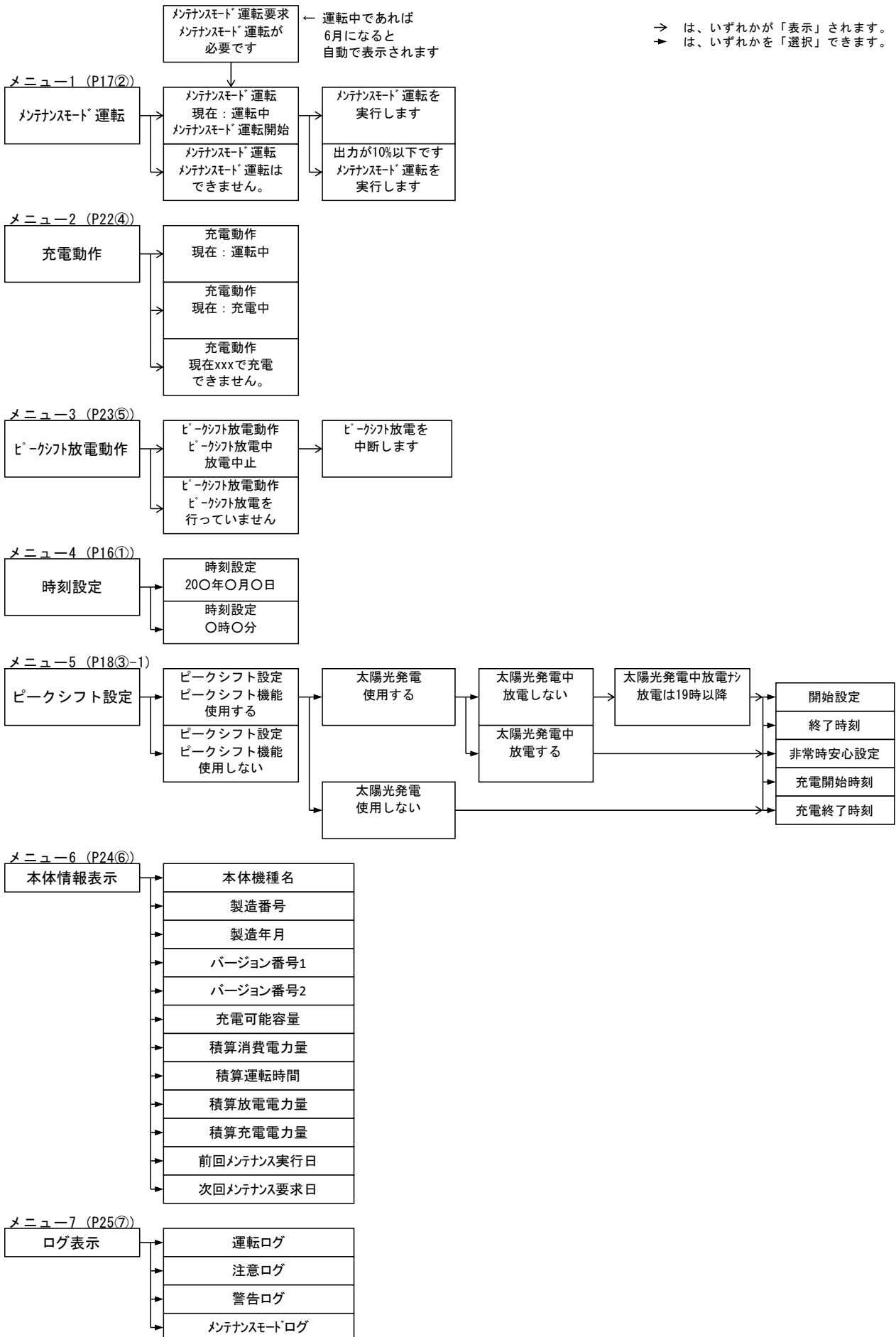


一番下に達すると最初の 1) 本体機種名表示に戻ります。

参考) メニュー構成

ホーム画面を表示中に[▼]を押して、「メニュー」を表示させます。

→ は、いずれかが「表示」されます。
➡ は、いずれかを「選択」できます。



11. こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

- 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

入力電圧低下(停電)時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、本製品が停止します。
入力電圧低下(停電)が回復すると AC 出力スイッチが点灯していれば自動的に充電を行います。

長期間ご使用にならないとき

AC 出力スイッチを ON(点灯)にして充電し、電池残量が  になったら出力を停止させ、必ず入力の AC ケーブルを抜いて保管してください。

長期不在にする場合でも、6 か月に一度は入力の AC ケーブルを接続し、必ず AC 出力スイッチを ON(点灯)にして充電してください。

本製品を長時間放置して完全に放電してしまうと、本製品が起動しなくなったり、電池の交換修理が必要となる場合があります。

風水害または地震時の対応

風水害時に冠水のおそれがあるときは、あらかじめ本製品の AC 出力スイッチを OFF し、運転を停止させたのち、入力の AC ケーブルをぬいてください。また、冠水した場合には、すみやかに販売店までご連絡ください。

地震の場合は、被害状況に応じて、販売店までご連絡ください。

※ 出力が出ているときに入力のケーブルを抜くと停電状態となり、蓄電池の電気を消費します。かならず、入力の AC ケーブルを抜くときは、出力を OFF してから行ってください。

停電時に太陽光発電の自立運転機能を使用するとき

停電時に太陽光発電システムの自立運転機能を使うと、太陽のエネルギーで本製品を動作(充電、出力)させることができます。

太陽光発電を自立運転にするには、太陽光発電の取扱説明書に従って、太陽光発電の切り替えを行ってください。

本製品で太陽光発電の自立運転を利用するには、太陽光システムの自立運転コンセントに本製品の入力の AC ケーブルを接続し、AC 出力スイッチを ON(点灯)にして出力を開始してください。

※ 出力中に本製品を移動しないでください。入力の AC ケーブルが太陽光発電の自立コンセントに届かない場合は、十分な太さの延長コードをご用意ください。

※ 本製品が十分に充電されていない時に入力の AC ケーブルを抜くと、出力が停止することがあります。

※ 太陽光発電の出力が低下したり不安定になると、蓄電池からの出力に自動的に切り替わります。

※ 停電が復旧したら、入力の AC ケーブルを元のコンセントに接続しなおし、AC 出力スイッチを ON(点灯)にして出力/充電を開始してください。

12. 注意ランプ(橙)が点灯/点滅したとき

注意ランプ(橙)が点灯/点滅したときは、次の表に従って処置してください。

また、状態が改善され、注意ランプが消灯したさい、AC 出力スイッチが OFF (消灯) になっていれば、AC 入力ランプが点灯していることを確認し、AC 出力スイッチを ON (点灯) させてください。

■ 注意コードの内容と処置

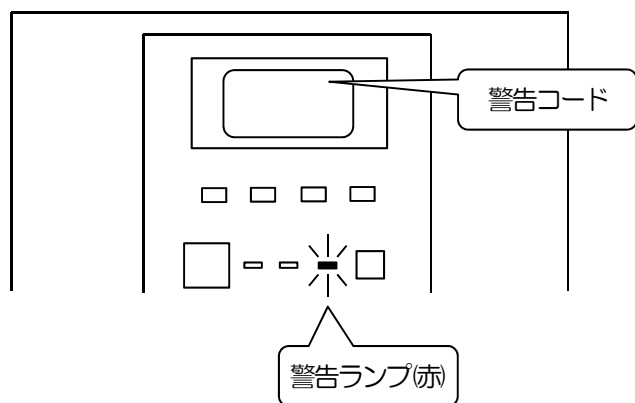
注意コード	内容	処置
BC417	電池容量低下	蓄電池に充電出来る容量が半分以下になっています。充電出来る容量が半分以下に低下しても引き続きご利用頂けます。
BE110	過負荷です	接続している機器を減らしてください。
BE203	過負荷です	接続している機器を減らしてください。
BE408	蓄電池放電禁止 内部保護が働き、蓄電池からの放電を強制終了しました。	しばらく様子を見てください。
BE416	放電禁止（セルアンバランス充電警告）	しばらく様子を見てください。
BF101	入力電圧が高くなっています。	入力電圧低下(停電)など、入力電源の異常です。
BF102	入力電圧が低くなっています。	出力中は蓄電池からの電気を出力します。
BF103	入力周波数が高くなっています。	入力の AC ケーブルが外れていないことを確認し、しばらく様子を見てください。
BF104	入力周波数低くなっています。	
BF403	過充電警告	しばらく様子を見てください。
BE404	蓄電池放電終了(停電時運転時) 蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。	充電してください。停電が復旧し AC 入力ランプが点灯しているときに、AC 出力スイッチが ON (点灯) になっていれば自動的に充電します。
BF405	蓄電池の温度が高温になったことを検知したため、出力を停止しました。	周囲温度 0～+40℃の範囲で使用してください。給排気口をふさいでいないかを確認し、周囲の温度が高い場合は周囲温度を下げ、AC 出力スイッチを ON (点灯) してください。
BF405	蓄電池の温度が低温になったことを検知し、出力を停止しました。	
BF406	蓄電池充電停止 内部保護が働き、蓄電池への充電を強制終了しました。	しばらく様子を見てください。
BF508	機内温度上昇 内部温度が高温になったことを検知しました。	吸排気口の周囲をあけたり、負荷を減らしてください。
PW962	蓄電池残量低下(停電時運転時) 蓄電池残量が低下したため、まもなく出力が停止します。	接続している機器を減らしたり、出力停止に備えて下さい。
PW969	過負荷停止 2 (停電時運転時) 定格を超える電力の使用を検知し、出力を停止しました。	接続している機器を減らしたのち、AC 出力スイッチを押して ON (点灯) にし、再度出力を開始してください。
PW970	過負荷停止 1 (通常運転時) 定格を超える電力の使用を検知し、出力を停止しました。(ピークシフト運転も中止になります)	接続している機器を減らしたのち、AC 出力スイッチを押して ON (点灯) にし、再度出力を開始してください。
PW975	機内温度高温 内部温度が非常に高温になったことを検知し、充電およびピークシフトを中断しました。	吸排気口の周囲をあけたり、負荷を減らしてください。また、周辺温度が高い場合は周囲温度を下げてください。
PW987	蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。(停電時運転時)	充電してください。停電が復旧し AC 入力ランプが点灯しているときに、AC 出力スイッチが ON (点灯) になっていれば自動的に充電します。
PW988	充電電圧警告 充電電圧が異常を検知し、充電を停止しました。	しばらく様子を見てください
PW991	蓄電池残量僅少 (待機時、通常運転時、ピークシフト運転時)	AC 入力ランプが点灯していたら、すぐに AC 出力スイッチを ON (点灯) にして充電を開始してください。充電開始後約 20 秒でブザーは止まります。注意ランプが点灯したままにすると電池の交換修理が必要となる場合があります。
PW992	蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。(ピークシフト運転時)	ピークシフト充電開始時刻になれば自動的に充電されます。

13. 警告ランプ(赤)が点灯/点滅したとき

警告ランプ(赤)が点灯/点滅したときは、

- 画面に表示されている警告コード
- 本体右側面に記載の型式
- 製造番号

を、弊社専用ダイヤル(31 ページ)もしくは、お買い上げの販売店に連絡してください。
また、AC 出力を停止し、入力の AC ケーブルを抜いてください。

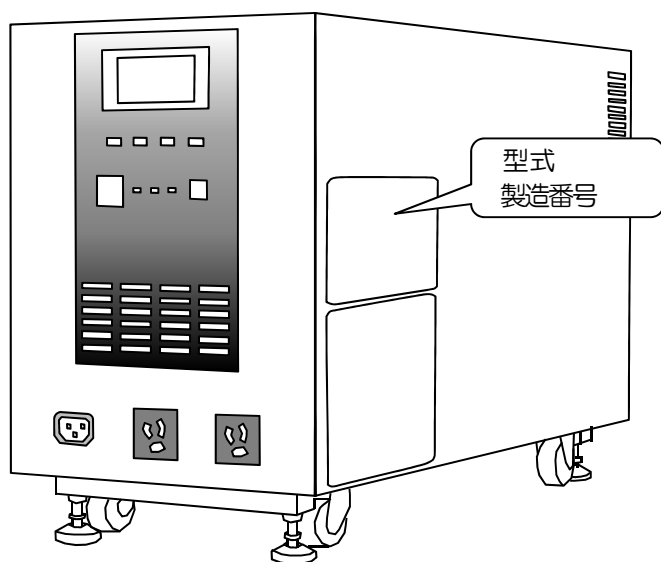


警告コードの例

BE112

BF408

PT906



14. 点検とメンテナンス

■定期チェック

半年に1度、次の事項をチェックしてください。

本製品に触れる際は、前面のAC出力スイッチを“OFF”にし、入力ACケーブルを壁コンセントより抜いてください。

- 吸気口、排気口に付いたゴミ、ほこりの除去
- 周囲荷物の積み上げ等の確認
- 出力コンセントにほこりがたまっている場合、火災防止のため乾いた布で取り除いてください

■メンテナンスモード運転の実施

メンテナンスモード運転は、蓄電池の状態確認を行います。

メンテナンスモード時は蓄電池の性能を維持するために、約10%(約80W)以上の負荷が必要となります。

メンテナンスモードの実施手順は17ページを参照してください。

本製品の性能維持のために、運転中であれば年1回6月に「メンテナンスモード運転要求」画面を表示します。この画面で[決定]ボタンを押すと、メンテナンスモード運転メニューに入ります。

「メンテナンスモード運転要求」表示中に[戻る]で戻るか、メンテナンスモード運転を実行すると「メンテナンスモード運転要求」は表示されなくなります。

「メンテナンスモード運転要求」画面は、注意等の重要な表示がないか、メンテナンスモード運転がキャンセルされなければ6月中は表示し続けます。また、この間バックライトは点灯を続けます。

※ メンテナンスモード運転を実施しないと、性能が維持できず動作しなくなる場合があります。

※ 運転中か充電中以外はメンテナンスモード運転を実施できません。

※ 電池性能維持のため、メンテナンスモード運転中はメンテナンスモード運転が終了し通常運転の画面に変わるまで、運転モードの変更はお控えください。

※ メンテナンスモード運転中も、普段と同じように、電気製品をお使いいただけます。

※ メンテナンスモードでは、蓄電池残量0%まで放電した後、100%まで充電を行います。そのため、800Wの電力をご使用の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は8時間程度となります。

※ 出力電力が少ない場合は、一日でメンテナンスモード運転が終了しないことがあります。

※ メンテナンスモード運転中は、出力の停止のみ行えます。出力を停止するとメンテナンスモード運転はキャンセルされます。

※ 過負荷などで出力が停止するとメンテナンスモード運転はキャンセルされます。

※ メンテナンスモード運転中に入力電圧低下(停電)が発生すると、メンテナンスモード運転はキャンセルされます。入力電圧低下(停電)回復後、再度メンテナンスモード運転を実行してください。

※ 前回の実行日は25ページ⑦の4) メンテナンスモードログを見ることで確認できます。

15. 保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。

保証書は巻末に印刷されています。必ず販売店名、販売日等の記載内容をお確かめになり、大切に保管してください。

アフターサービスについて

本製品のアフターサービスは代替機を貸出し、製品をお預かりし、修理いたします。

修理完了後、お届けと同時に代替機を回収させていただきます。

修理には 2-3 週間かかる場合がありますがご不便をかけないように対応させていただきます。

● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、販売店にお問い合わせください。販売店がご利用いただけない場合は、下記のニチコンサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

● 修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- ・ お買い上げ時期
- ・ 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- ・ 故障の状況（警告コード、故障発生時の時間と天候など）

● 補修用性能部品の最低保有期間

- ・ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後、10 年です。

● 製品を廃棄するときは、お買い上げの販売店またはお客様窓口にお問い合わせください

- ・ 製品に使われている蓄電池はリサイクルが必要です。
- ・ 本製品にはリチウムイオン電池を内蔵しており、粗大ごみとして廃棄することはできません。

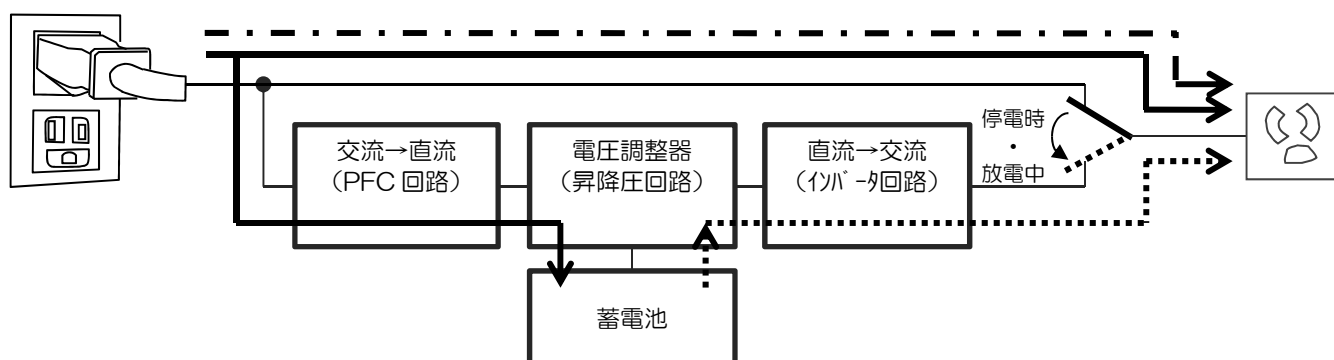
故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社 サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日 : 9 ~ 20 時、土・日・祝日・休業日 : 9 ~ 18 時
製品の使用方法等 に関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社 お客様窓口 電話 : 0120-215-086 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9 ~ 17 時、土・日・祝日・休業日は除く

16. 仕様

項目	仕様	備考
蓄電容量	2 kWh	
定格入力電圧	AC100V	正弦波
定格周波数	50Hz/60Hz	周波数自動検出
定格入力電流	10A±1A 満充電時 14A+0A/−2A 充電電流最大時	定格入力電圧、1000VA/800W 負荷、 周囲温度 25℃
定格出力	AC100V 1000VA 800W	正弦波
充電時間	6 時間	
系統連系	非連系	
温度条件	0℃～40℃	
製品寿命	10 年	蓄電池を除く
切替時間	10ms (UPS 機能)	
停電時運転可能時間	約 2 時間	初期値、定格出力、満充電状態
外形寸法(W×D×H)	250×550×380[mm]	突起物を除き、キャスト含む
製品重量	38[kg]	電池パック約 19kg 含む
筐体材質	塗装付き亜鉛メッキ鋼板	
電源入出力部	入力	インレット
	出力	アウトレット (ロック付 2 個)
冷却方式	強制空冷 (120mm 角 FAN1 つ搭載)	前面吸気／背面排気 内部温度により速度調整あり
付属品	入力 AC ケーブル (2m 1 本) 製造番号ラベル (保証書用 1 枚) 2P-3P 変換プラグ 1 個	
適用規格	S-JET	

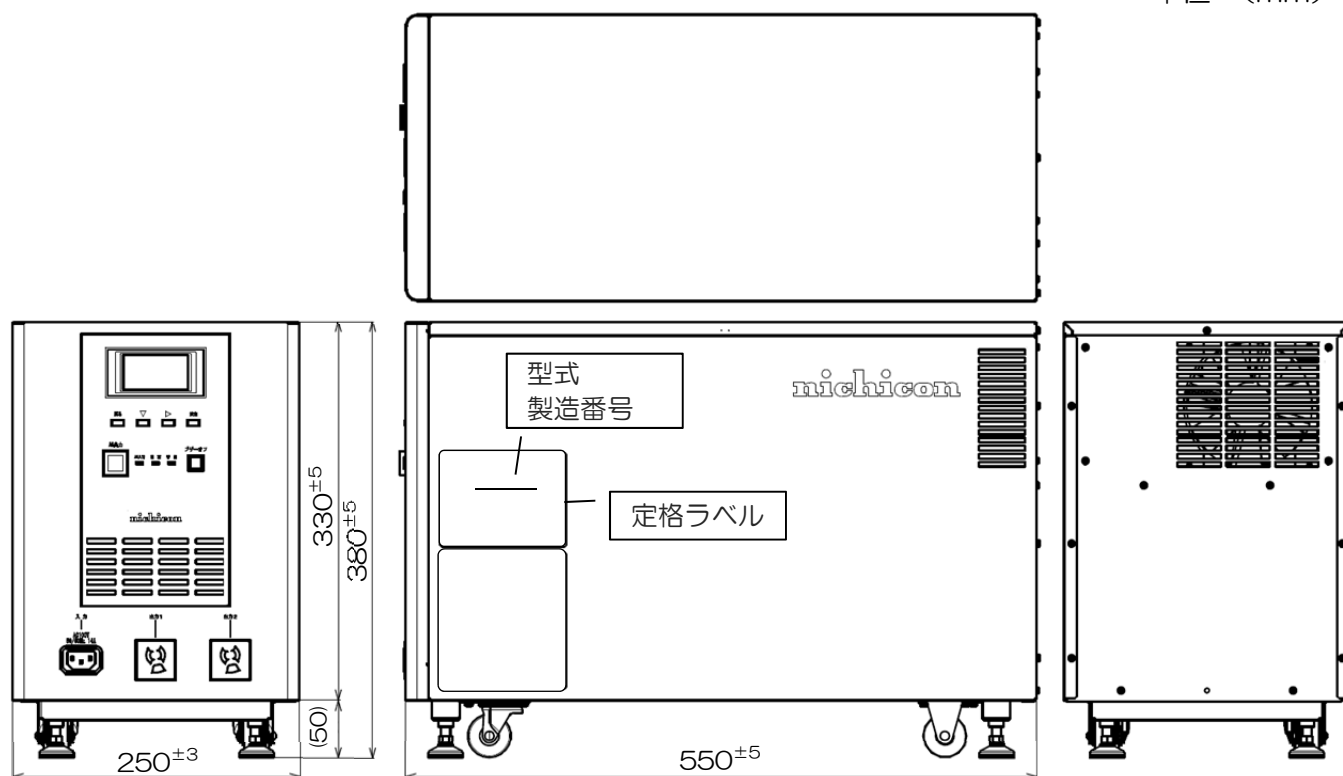
参考) ブロック図 (線の種類は、運転モードを表しています。)

- · — · — 運転中
- 充電中
- 停電時運転中 および 放電中



17. 外形寸法

単位：(mm)



nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845 <http://www.nichicon.co.jp>